

レコードフォーマット(全銀協制定)

「スターBB！」専用



TOKYO
S T A R
B A N K



東京スター銀行

レコードフォーマット使用上の注意事項

- ① ※印の項目は場合により記録を省略することが出来ることになっています。省略した場合は各フォーマットで特に規定のない限り、全て半角スペースとします。
- ② ダミーは将来の拡張用の予備エリアであり、特定企業・銀行間で任意には使用出来ません。各フォーマットで特に規定のない限り全て半角スペースとします。
- ③ 銀行コード・手形交換所コードは金融機関共同コード管理委員会制定の統一コードとします。
- ④ 支店コードは各銀行が制定し、全国銀行協会に登録した統一店番号とします。
- ⑤ 銀行コード・手形交換所コード、支店コードは金融機関コード便覧(全国銀行協会より出版)に記載されています。
- ⑥ 銀行名・支店名は全国銀行店舗一覧(全国銀行協会編)に記載の正称または略称です。
- ⑦ 預金種目及び税区分は全銀協制定統一コードを使用します。
- ⑧ 「レコードの内容」の桁数欄及び「レコードの形式」のタイプ欄の「C」は文字(数字を含む)、「N」は数字を表します。
- ⑨ 各フォーマットは令和3年8月10日現在の「スターBB！」専用レコードフォーマットです。
- ⑩ 「地方税納付」のフォーマットは、地銀協制定レコードフォーマット準拠となります。

振込依頼人名、受取人名などの記入

- A 個人の姓及び名、法人または営業所の種類名及び名称は、それぞれ分ち書きせず、個人の姓と名、法人の種類名と名称、法人名と営業所名とは、それぞれの間に半角スペースを入れて分ち書きします。
但し、後記Bにより略語を使用する場合には、半角スペースに代えてカッコを使用します。

- (例) ①個人の場合
「東京 太郎」→トウキョウ タロウ
②法人の場合
「株式会社広岡商店神戸支店」→カブシキガイシャ ヒロオカシヨウテン コウベシテン

B 略語の使用方法

法人、営業所及び事業所の種類名は、次の用法に基づき略語を使用します。

- I 法人略語及び営業所略語は、略語判別表示としてカッコを付して使用します。なお、事業略語には、略語判別表示を付さず、冠頭語と事業略語とは続けて記入し、分ち書きしません。

- (例) 「株式会社広岡商店」 →カ)ヒロカシヨウテン
「広岡商店株式会社那覇営業所」 →ヒロカシヨウテン(カ)ハ(エイ)
「広岡商店株式会社」 →ヒロカシヨウテン(カ)

- II 略語の使用は、1法人名につき1個とします。但し、法人略語、事業略語及び営業所略語のそれぞれを組み合わせ併用出来ます。

- (例) 「三本火災海上保険株式会社 箱根営業所」の場合→ミツホトカイ(カ)ハコネ(エイ)

Ⅲ 略語を使用することが出来る用語及び略語

用語	略語	用語	略語
1. 法人略語		2. 営業所略語	
株式会社	カ	営業所	エイ
有限会社	ユ	出張所	シュツ
合名会社	メ	3. 事業略語	
合資会社	シ	連合会	レン
合同会社	ド	共済組合	キョウサイ
医療法人	イ	協同組合	キョウギ
医療法人社団		生命保険	セイメイ
医療法人財団		海上火災保険	カイジョウ
社会医療法人		火災海上保険	カサイ
一般財団法人	ザイ	健康保険組合	ケンホ
公益財団法人		国民健康保険組合	コクホ
一般社団法人	シャ	国民健康保険団体連合会	コクホレン
公益社団法人		社会保険診療報酬支払基金	シャホ
宗教法人	シユウ	厚生年金基金	コウネン
学校法人	ガク	従業員組合	ジュウギ
社会福祉法人	フク	労働組合	ロウギ
更生保護法人	ホコ	生活協同組合	セイキョウ
相互会社	ソ	食糧販売協同組合	シヨクハンキョウ
特定非営利活動法人	トクヒ	国家公務員共済組合連合会	コクキョウレン
独立行政法人	トク	農業協同組合連合会	ノウキョウレン
地方独立行政法人	チトク	経済農業協同組合連合会	ケイザイレン
中期目標管理法人	モク	共済農業協同組合連合会	キョウサイレン
国立研究開発法人	ケン	漁業協同組合	ギョキョウ
行政執行法人	シツ	漁業協同組合連合会	ギョレン
弁護士法人	ベン	公共職業安定所	シヨクアン
有限責任中間法人	チユウ	社会福祉協議会	シャキョウ
無限責任中間法人		キョ	特別養護老人ホーム
行政書士法人	シホウ	有限責任事業組合	ユウギ
司法書士法人	シホウ		
税理士法人	ゼイ		
国立大学法人	ダイ		
公立大学法人		ノウ	
農事組合法人	カンリ		
管理組合法人	ロウム		
社会保険労務士法人			

入力出来る文字の種類

半角大文字

カナ	アからン
英字	AからZ
数字	0から9
濁点・半濁点	
記号	¥ () 「 」 - / .

総合振込

N-右詰前「0」 C-左詰残り「半角スペース」

ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	「1」-ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	「21」-総合振込
3	コード区分	N(1)	「0」-JIS
4	委託者コード	N(10)	当行が採番し通知した委託者コード
5	委託者名	C(40)	振込元の委託者名
6	振込指定日	N(4)	振込指定日をMM(月)DD(日)で指定
7	仕向銀行番号	N(4)	「0526」
8	※仕向銀行名	C(15)	「トウキョウスター」
9	仕向支店番号	N(3)	取引店の支店番号
10	※仕向支店名	C(15)	取引店名
11	預金種目	N(1)	「1」-普通預金 「2」-当座預金 「4」-貯蓄預金 「9」-その他
12	口座番号	N(7)	委託者名の口座番号
13	ダミ	C(17)	スペース
	計	120	

データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	「2」-データ・レコード
2	被仕向銀行番号	N(4)	振込先金融機関番号
3	※被仕向銀行名	C(15)	振込先金融機関名
4	被仕向支店番号	N(3)	振込先支店番号
5	※被仕向支店名	C(15)	振込先支店名
6	※手形交換所番号	N(4)	統一手形交換所番号(当行は全て「0」で可)
7	預金種目	N(1)	「1」-普通預金 「2」-当座預金
8	口座番号	N(7)	受取人の口座番号
9	受取人名	C(30)	受取人名
10	振込金額	N(10)	振込金額
11	新規コード	N(1)	「1」-新規 「2」-変更 「0」-その他 (当行は全て「1」または「0」で可)
12	※顧客コード1	N(10)	依頼人が定めた受取人識別のための顧客コード
13	※顧客コード2	N(10)	
12	※EDI情報	C(20)	項目15の識別表示欄に「Y」表示を付した場合には、 「依頼人から受取人に対して通知するEDI情報」を表す
13			
14	振込指定区分	N(1)	「7」-電信振込
15	※識別表示	C(1)	「Y」またはスペースとする。本欄に「Y」表示を付した場合には、項番12・13の項目内容は「EDI情報」を表す
16	ダミ	C(7)	スペース
	計	120	

トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	「8」-トレーラ・レコード
2	合計件数	N(6)	データ・レコードの合計件数
3	合計金額	N(12)	データ・レコードの合計金額
4	ダミ	C(101)	スペース
	計	120	

エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	「9」-エンド・レコード
2	ダミ	C(119)	スペース
	計	120	

※欄は任意項目

注意事項

- ① 文字コードはS-JISコードのみ。(EBCDIC不可)
- ② 改行コードは、「CR+LF(0d0a)」、「CR(0d)」、「LF(0a)」とする。改行コード無しでも受付可能。
- ③ エンド・レコード後の改行コード及び「EOF(1a)」は任意。
- ④ シングルファイルのみ受付可能。(ヘッダー【H】+データ【D】+トレーラ【T】+【H】+【D】+【T】+エンド【E】等、マルチは不可)

給与・賞与振込

N-右詰前「0」 C-左詰残り「半角スペース」

ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	「1」-ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	「11」-給与 「12」-賞与
3	コード区分	N(1)	「0」-JIS
4	委託者コード	N(10)	当行が採番し通知した委託者コード
5	委託者名	C(40)	振込元の委託者名
6	振込指定日	N(4)	振込指定日をMM(月)DD(日)で指定
7	仕向銀行番号	N(4)	「0526」
8	※仕向銀行名	C(15)	「トウキョウスター」
9	仕向支店番号	N(3)	取引店の支店番号
10	※仕向支店名	C(15)	取引店名
11	預金種目	N(1)	「1」-普通預金 「2」-当座預金
12	口座番号	N(7)	委託者名の口座番号
13	ダミ	C(17)	スペース
	計	120	

データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	「2」-データ・レコード
2	被仕向銀行番号	N(4)	振込先金融機関番号
3	※被仕向銀行名	C(15)	振込先金融機関名
4	被仕向支店番号	N(3)	振込先支店番号
5	※被仕向支店名	C(15)	振込先支店名
6	※手形交換所番号	N(4)	統一手形交換所番号(当行は全て「0」で可)
7	預金種目	N(1)	「1」-普通預金 「2」-当座預金
8	口座番号	N(7)	受取人の口座番号
9	受取人名	C(30)	受取人名
10	振込金額	N(10)	振込金額
11	新規コード	N(1)	「1」-新規 「2」-変更 「0」-その他 (当行は全て「1」または「0」で可)
12	※社員番号	N(10)	
13	※所属コード	N(10)	
14	ダミ	C(9)	スペース
	計	120	

トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	「8」-トレーラ・レコード
2	合計件数	N(6)	データ・レコードの合計件数
3	合計金額	N(12)	データ・レコードの合計金額
4	ダミ	C(101)	スペース
	計	120	

エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	「9」-エンド・レコード
2	ダミ	C(119)	スペース
	計	120	

※欄は任意項目

注意事項

- ① 文字コードはS-JISコードのみ。(EBCDIC不可)
- ② 改行コードは、「CR+LF(0d0a)」、「CR(0d)」、「LF(0a)」とする。改行コード無しでも受付可能。
- ③ エンド・レコード後の改行コード及び「EOF(1a)」は任意。
- ④ シングルファイルのみ受付可能。(ヘッダー【H】+データ【D】+トレーラ【T】+【H】+【D】+【T】+エンド【E】等、マルチは不可)

地方税納付(地銀協制定レコードフォーマット)

N-右詰前「0」 C-左詰残り「半角スペース」

ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	「1」-ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	「99」-地方税納付
3	コード区分	N(1)	「0」-JIS
4	委託者コード	N(10)	当行が採番した委託者コード
5	取引支店番号	N(3)	取引支店コード
6	納期限	N(6)	年月日(和暦)「YYMMDD」
7	納付月分	N(4)	年月(和暦)「YYMM」
8	委託者名	C(40)	お客さまの会社名を入力
9	委託者住所	C(50)	お客さまの住所を入力
10	ダミ	C(3)	
	計	120	

データ・レコード

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	「2」-データ・レコード
2	市区町村コード	N(6)	
3	市区町村名	C(15)	
4	指定番号	C(15)	市区町村が採番した企業の指定番号
5	(給与所得者)異動有無	N(1)	「0」-異動無し 「1」-異動有り
6	給与税額件数	N(5)	当該市区町村に該当する給与税件数…①
7	給与税額金額	N(9)	金額…②
8	退職税額件数	N(5)	退職税件数…③
9	退職税額金額	N(9)	金額…④
10	合計税額件数	N(5)	上記①と③の合計
11	合計税額金額	N(9)	上記②と④の合計
12	退職明細人員	N(3)	退職金の支払対象人数
13	退職明細支払金額	N(10)	支払合計金額
14	退職明細市区町村民税	N(9)	上記③④欄が「0」以外の場合に入力
15	退職明細都道府県民税	N(9)	(③④欄が「0」の場合は当欄も0とする。)
16	ダミ	C(9)	
	計	120	

トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	「8」-トレーラ・レコード
2	給与税額合計件数	N(7)	データ・レコード「給与税額件数」の合計件数…⑤
3	給与税額合計金額	N(11)	データ・レコード「給与税額金額」の合計金額…⑥
4	退職税額合計件数	N(7)	データ・レコード「退職税額件数」の合計件数…⑦
5	退職税額合計金額	N(11)	データ・レコード「退職税額金額」の合計金額…⑧
6	合計税額件数	N(7)	上記⑤と⑦の合計
7	合計税額金額	N(11)	上記⑥と⑧の合計
8	ダミ	C(65)	
	計	120	

エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	「9」-エンド・レコード
2	ダミ	C(119)	
	計	120	

※欄は任意項目

注意事項

- ① 文字コードはS-JISコードのみ。(EBCDIC不可)
- ② 改行コードは、「CR+LF(0d0a)」、「CR(0d)」、「LF(0a)」とする。改行コード無しでも受付可能。
- ③ エンド・レコード後の改行コード及び「EOF(1a)」は任意。
- ④ シングルファイルのみ受付可能。(ヘッダー[H]+データ[D]+トレーラ[T]+[H]+[D]+[T]+エンド[E]等、マルチは不可)

入出金明細

N-右詰前「0」 C-左詰残り「半角スペース」

ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内 容	備考
1	データ区分	N(1)	「1」-ヘッダー・レコード	
2	種別コード	N(2)	「03」-入出金明細	
3	コード区分	N(1)	「0」-JIS	
4	作成日	N(6)	YYMMDD(和暦)	
5	勘定日(自)	N(6)	YYMMDD(和暦)	
6	勘定日(至)	N(6)	YYMMDD(和暦)	
7	銀行コード	N(4)	「0526」	
8	銀行名	C(15)	「トウキョウスター」	
9	支店コード	N(3)	取引店の支店番号	
10	支店名	C(15)	取引店名	
11	ダミ	N(3)	全て「0」とする	
12	預金種目	N(1)	「1」-普通預金 「2」-当座預金	
13	口座番号	N(10)		
14	口座名	C(40)	口座名義	
15	※貸越区分	N(1)	「1」-プラス 「2」-マイナス	(注1)(注2)
16	※通帳・証書区分	N(1)	「1」-通帳 「2」-証書	(注1)(注2)
17	※取引前残高	N(14)		(注1)
18	ダミ	C(71)	スペース	
	計	200		

データ・レコード(普通預金・当座預金)

項番	項目名	桁数	内 容	備考
1	データ区分	N(1)	「2」-データ・レコード	
2	※照会番号	N(8)	当行が採番した照会用番号	(注1)
3	勘定日	N(6)	YYMMDD(和暦)	
4	預入・払出日	N(6)	YYMMDD(和暦) 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日と同一年月日を記入する	
5	入払区分	N(1)	「1」-入金 「2」-出金	
6	※取引区分	N(2)	「10」-現金 「11」-振込 「12」-他店券入金 「13」-交換(取立入金及び交換払) 「14」-振替 「18」-その他 「19」-訂正	(注1)(注2)
7	取引金額	N(12)		
8	うち他店券金額	N(12)	取引金額中の他店券金額	
9	※交換呈示日	N(6)	YYMMDD(和暦)	(注1)(注2)
10	※不渡返還日	N(6)	YYMMDD(和暦)	(注1)(注2)
11	※手形・小切手区分	N(1)	「1」-小切手 「2」-約束手形 「3」-為替手形	(注1)(注2)
12	※手形・小切手番号	N(7)		(注1)
13	※僚店番号	N(3)	取引のあった店を表す(統一店番号)	(注1)
14	※振込依頼人コード	N(10)	仕向銀行からの為替通知に記載された振込依頼人の識別コード	(注1)
15	振込依頼人名または ※契約者番号	C(48)	【入払区分が「1」(入金)の場合】-振込依頼人名 【入払区分が「2」(出金)の場合】-預金口座振替の契約者番号	
16	※仕向銀行名	C(15)		
17	※仕向店名	C(15)		
18	※摘要内容	C(20)		
19	※EDI情報	C(20)	仕向銀行からの為替通知に記載されたEDI情報	
20	ダミ	C(1)	スペース	
	計	200		

入出金明細

トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容	備考
1	データ区分	N(1)	「8」-トレーラ・レコード	
2	入金件数	N(6)		
3	入金額合計	N(13)		
4	出金件数	N(6)		
5	出金額合計	N(13)		
6	※貸越区分	N(1)	「1」-プラス 「2」-マイナス	(注1)(注2)
7	※取引後残高	N(14)		(注1)
8	データ・レコード件数	N(7)	データ・レコードの総件数を表す	
9	ダミ	C(139)	スペース	
	計	200		

注意事項

エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容	備考
1	データ区分	N(1)	「9」-エンド・レコード	
2	レコード総件数	N(10)	データレコード数+3	
3	口座数	N(5)	00001固定	
4	ダミ	C(184)	スペース	
	計	200		

※欄は任意項目

(注1) 省略時にはデータ属性はCであり全桁にスペースが設定される。また非省略時にはデータ属性はNとなる。

(注2) 省略時にはそのまま全桁に「0」が設定される。

振込入金明細

N-右詰前「0」 C-左詰残り「半角スペース」

ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容	備考
1	データ区分	N(1)	「1」-ヘッダー・レコード	
2	種別コード	N(2)	「01」-振込入金通知	
3	コード区分	N(1)	「0」-JIS	
4	作成日	N(6)	YYMMDD(和暦)	
5	勘定日(自)	N(6)	YYMMDD(和暦)	
6	勘定日(至)	N(6)	YYMMDD(和暦)	
7	銀行コード	N(4)	「0526」	
8	銀行名	C(15)	「トウキョウスター」	
9	支店コード	N(3)	取引店の支店番号	
10	支店名	C(15)	取引店名	
11	預金種目	N(1)	「1」-普通預金 「2」-当座預金	
12	口座番号	N(7)		
13	口座名	C(40)	口座名義	
14	ダミー	C(93)	スペース	
	計	200		

データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容	備考
1	データ区分	N(1)	「2」-データ・レコード	
2	※照会番号	N(6)	銀行が採番した照会用番号	(注1)
3	勘定日	N(6)	YYMMDD(和暦)	
4	起算日	N(6)	YYMMDD(和暦) 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日と同一年月日を記入する	
5	金額	N(10)		
6	うち他店券金額	N(10)	入金額中の他店券金額	
7	※振込依頼人コード	N(10)	仕向銀行からの為替通知に記載された振込依頼人の識別コード	(注1)
8	振込依頼人名	C(48)		
9	※仕向銀行名	C(15)		
10	※仕向店名	C(15)		
11	※取消区分	N(1)	振込入金通知を取り消す場合に使用。「1」-取消	(注1)(注2)
12	※EDI情報	C(20)	仕向銀行からの為替通知に記載されたEDI情報	
13	ダミー	C(52)	スペース	
	計	200		

トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容	備考
1	データ区分	N(1)	「8」-トレーラ・レコード	
2	振込合計件数	N(6)		
3	振込合計金額	N(12)		
4	※取消合計件数	N(6)		(注1)
5	※取消合計金額	N(10)		(注1)
6	ダミー	C(163)	スペース	
	計	200		

エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容	備考
1	データ区分	N(1)	「9」-エンド・レコード	
2	ダミー	C(199)	スペース	
	計	200		

※欄は任意項目

(注1) 省略時にはデータ属性はCであり全桁にスペースが設定される。また非省略時にはデータ属性はNとなる。

(注2) 省略時にはそのまま全桁に「0」が設定される。